

# 不用陶磁器集め再生

## フェアで展示即売

### ごみ減量化めざし

草津の社  
清掃会社



始まったリサイクル陶磁器フェア  
(草津市・草津近鉄百貨店4階)

減量化をめざして、同市若竹町の清掃会社「大五産業」が企画した。

同社は昨年十一月、同百貨店や草津市コミュニティ支援センターなど市内三カ所に、不用になった陶磁器の回収ボックスを設置。二カ月間で約二百五十キが集まり、美濃焼の産地である岐阜県多治見市の研究機関や業者で作るグループと協力して、同市の工場で陶磁器に再生した。今後、リサイクル商品として販売する。

再生した陶磁器を紹介する「リサイクル陶磁器フェア」が十一日、草津市渋川一丁目の草津近鉄百貨店で始まった。不燃ごみの最終処分場の容量が全国的に限界に近づきつつある中、ごみ

同フェアでは、リサイクル陶磁器を展示即売しているほか、リサイクルの流れを紹介するパネルを展示している。二十三日まで。